

令和 2（2020）年 10 月 15 日
令和 2 年度篠ノ井老人福祉センター考古学入門講座

「おとなりさんの考古学入門」第 5 回講座

篠ノ井地区の遺跡・歴史散策

長野県埋蔵文化財センター 櫻井秀雄

1 篠ノ井の歴史

- 明治 12（1879）年、郡区町村編成法により長野県に 16 郡が設置された
- 更級郡は 1 町 26 村からなり、郡役所は塩崎村へ置かれた。
- 明治 21（1888）年に篠ノ井駅開業。
明治 33 年篠ノ井線（篠ノ井―西条）開通。
- 大正 2（1913）年に郡役所が布施村へ移転。
- 大正 3（1914）年、布施村が篠ノ井町へ改称。
- 大正 15（1926）年に郡役所廃止。
- 昭和 34 年に篠ノ井市発足。昭和 41 年に長野市となる。

2 埋文センター展示室

長野県埋蔵文化財センターは昭和 57 年に設立。昭和 62 年にこの場所に事務所を開所。

それ以前には長野県自治研修所、県消防学校であった建物である。

昭和 62 年～平成 11 年までは、1・2 階を保健所、3 階とプレハブ棟を埋文センターが利用してきた。

展示室では、現在整理中の出土品や写真パネルなどを展示している。



展示室の様子

2 旧更級郡役所跡の石碑

・更級郡役所は、大正 2（1913）年に現在埋文センターのある場所に移転し、大正 15（1926）年に廃止されるまでこの場所に置かれた。記念碑は昭和 48 年に建立された。



埋文センターの敷地内にある郡役所の記念碑

3 津崎町（津崎氏胸像）

・津崎尚武〔明治 15（1882）～昭和 37（1962）年〕は、鹿児島県出身で東大卒業後に内務省に入省、明治 43（1910）～大正 3（1914）年まで更科郡長を務める。大正 2（1913）年に更級郡役所を塩崎村から布施村へ移転した。

・郡役所の移転時に駅前通りから郡役所へつながる道が開かれたが、郡長の名をとって津崎町と名付けられた。のちには衆議院議員にもなる。胸像は昭和 36 年に建立された。近年、篠ノ井支所からこの場所に移転。

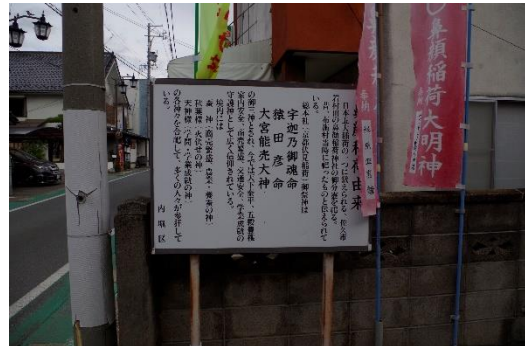


埋文センターにある胸像と津崎町

4 ^{はなづらいなり}鼻顔稲荷（布施氏館跡）

・佐久市・鼻顔稲荷神社からの御分霊を祭る。祭神は、宇迦之御魂命（ウカノミタマノミコト）、猿田彦命（サルタヒコノミコト）、大宮能売大神（オオミヤノメノミコト）。

・佐久の鼻顔稲荷神社は戦国時代の永禄年間（1558～1570 年）に創建、日本5大稲荷（他は京都市・伏見稲荷大社、愛知県豊川市・豊川稲荷（妙巖寺）、佐賀県鹿島市・祐徳稲荷神社、茨城県笠間市・笠間稲荷神社）のひとつに数えられる。神社の所在する地が、かつては「鼻顔」と呼ばれていたことが名前の由来といわれている。



篠ノ井の鼻顔稲荷



佐久市の鼻顔稲荷神社

社殿は、湯川の断崖に足場を組んでつくられた懸崖造り。
本殿は崖の中に組み込まれている。

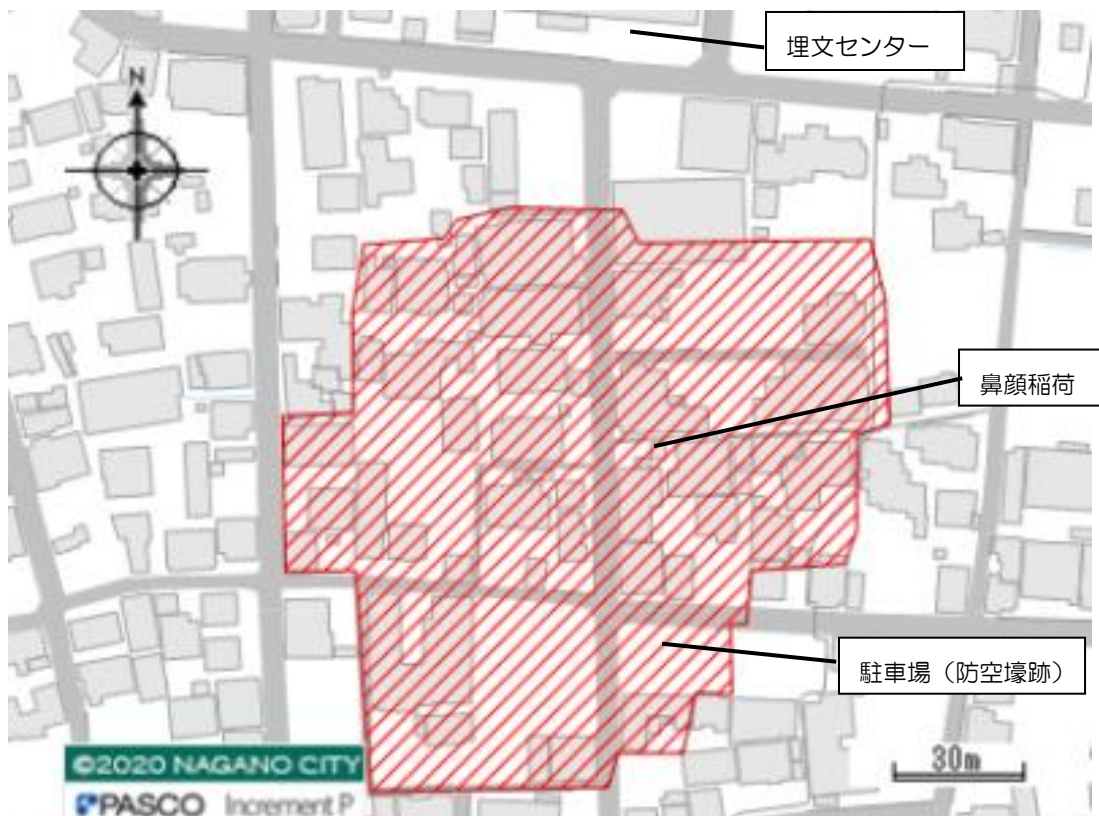
5 防空壕（布施氏館跡）

- ・昭和 20 年 7 月に篠ノ井でも隣組ごとに 1 個程度の防空壕がつくられた。津崎町商店街駐車場もかつての防空壕の跡である。
- ・8 月 13 日の長野空襲では篠ノ井も攻撃を受ける。篠ノ井高等女学校は一部を損壊、篠ノ井駅周辺では 2 名が亡くなっている。



6 布施氏館跡（布施氏城跡）

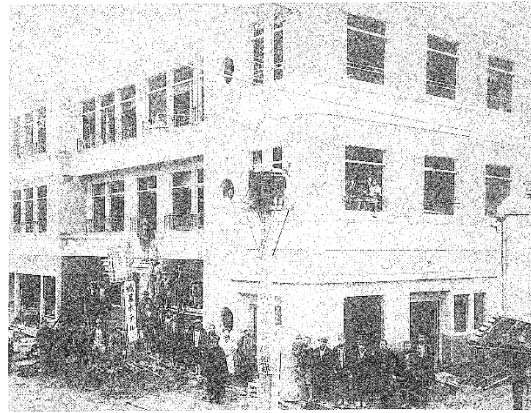
中世の館跡。布施氏は鎌倉時代に英多（あがた）荘の地頭であった平林氏の一族で、初めに山布施に居住したため布施と称したといわれる。この周辺は「内堀区」で「内堀」＝「堀の内」の名を残す。埋文センター所在地の小字名は「佃」。



長野市遺跡地図（埋蔵文化財包蔵地としては「布施城跡」が登録名。）

7 城屋ホテル

- ・昭和 6 年 11 月に駅前通りに完成し、威容を誇ったホテルであった。



城屋ホテル跡地とかつての城屋ホテル

8 萬屋商店の鬼瓦

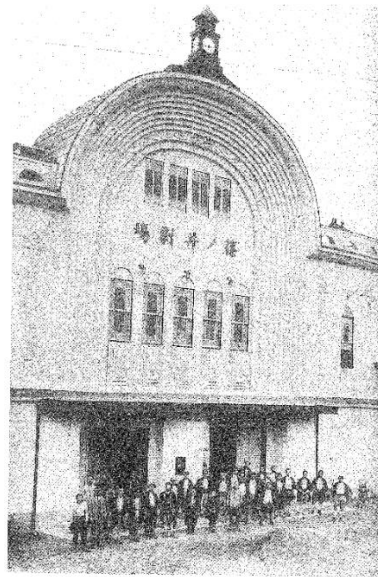
- ・塩崎で船運業に従事していた萬屋は、明治 6（1873）年の内国通運條ノ井分社、明治 8（1875）年の信濃中牛馬会社の創設に中心的な存在となる。塩業者として布施村へ進出。明治 19（1886）年に萬屋運平商店として米・雑穀・肥料・運送業を始め、昭和 10 年に萬屋商店に改称する。



萬屋の遠景と鬼瓦

9 旧篠ノ井劇場跡

・明治 35（1902）年頃、栄布座が設立。昭和 3 年に閉館移転。昭和 3 年、その跡地に篠ノ井劇場が約 6 万円の工事費をかけて篠ノ井町直営工事で建設。



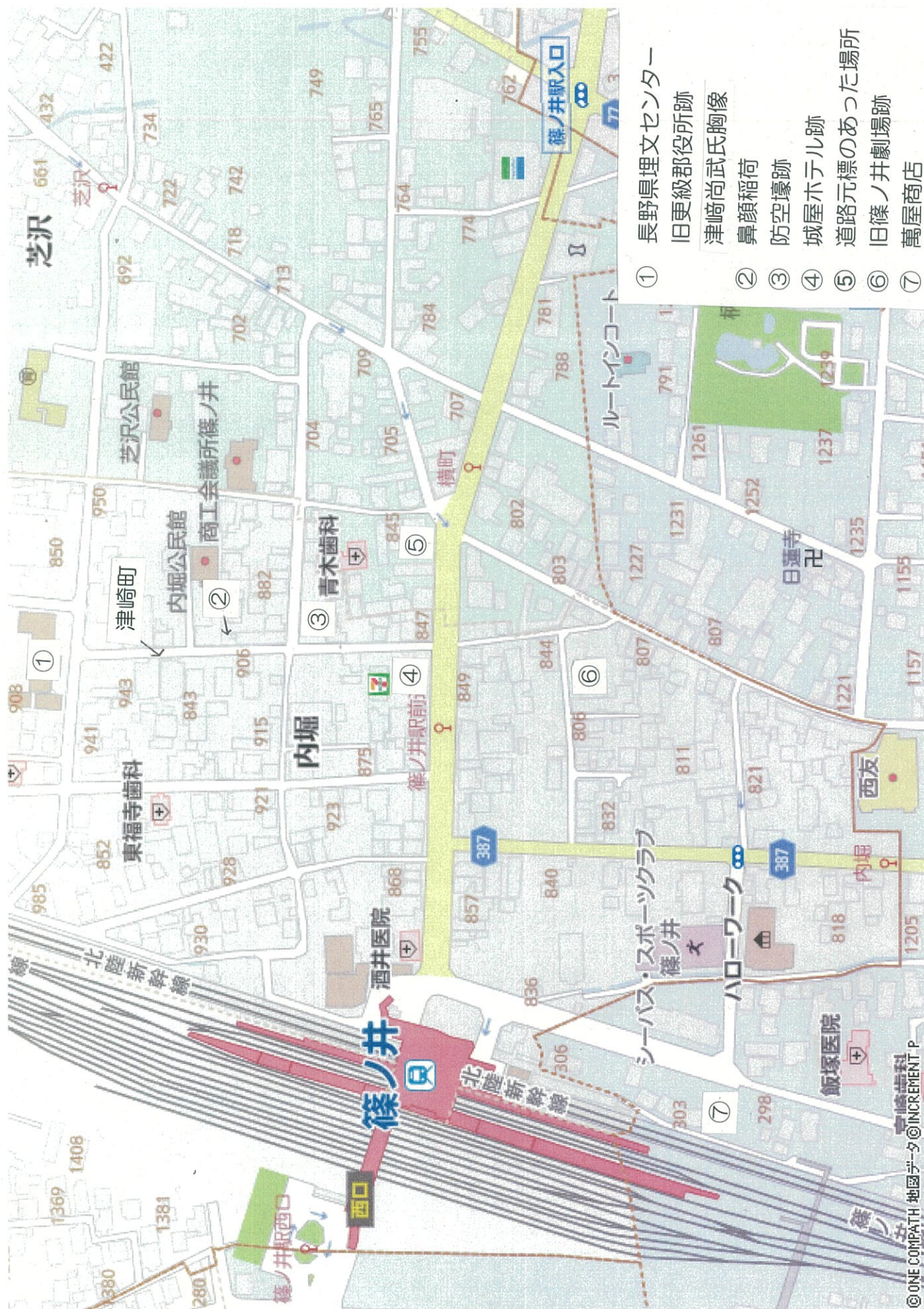
篠ノ井劇場跡地（左）とかつての篠ノ井劇場（右）

10 篠ノ井町道路元標

道路元標とは、道路の起点終点を示す標識である。大正 8（1919）年の旧道路法制定に伴う道路法施行令で規定されたもの。各市町村に 1 箇所設置された。



道路建設により、かつてあった道路元標（右）はみられなくなっている。



① 長野県埋文センター

旧更級郡役所跡

津崎尚武氏胸像

② 鼻顔稲荷

③ 防空壕跡

④ 城屋ホテル跡

⑤ 道路元標のあった場所

⑥ 旧篠ノ井劇場跡

⑦ 萬屋商店